

平成25年度長崎大学地域教育連携・支援センター外部評価委員会 評価結果

長崎大学地域教育連携・支援センター外部評価委員会  
平成26年3月10日

事業名	委員評価							委員会 評価
	1	2	3	4	5	6	7	
1 教員免許状更新講習事業	A	A	A	A	A	A	A	A
2 Student Labo & Open Labo (学内受け入れ事業)	A	A	A	B	A	A	A	A
3 Class Labo (出前授業)	A	A	A	A	A	A	A	A
4 Teacher Labo (教師対象事業)	B	A	A	A	A	A	A	A

参考:評価方法

II 委員会の評価は、以下による。

- 1 各委員の評語の最多の評語を、委員会の評価（評語）とする。
- 2 各委員の評語が同数である場合は、委員長が委員会の評価（評語）を決定する。
- 3 特記事項は、各委員が記載した全てを記載する。

事業名	評価	特記事項(提言・改善意見など)
1 教員免許 状更新講習 事業	A	<p>(1)長崎大学を中心として、県内の9大学が参画して多様な講座を開 設し、教員のリフレッシュに貢献している。受講者の評価はいずれの 項目も3.5と高く、内容が充実していたことがわかる。</p> <p>(2)できる範囲で(そもそも個々の受講者の意見を全ては聞けない)受 講者の立場で運営している。のべ約5300人のさまざまな希望や意見 (異見?)を反映したものを講習で提供していると思う。消費税の増税 が今後の運営に影響してくることも予想できるが、ひきつづき長崎の子 どものためになる講習を提供してほしい。</p> <p>(3)事後評価が全ての項目3.5以上であり、受講者の満足度が高い。</p> <p>(4)受講者の評価がほとんど3.5以上である。事後評価(自由記述)の 中で改善できるものについては改善してほしい。</p> <p>(5)本講習に関して、長崎大学の役割が大きいのは当然である。受講 者の評価も「よい」「だいたいよい」が95%を超えている・自由記述で要 望が多く書かれていたが可能な限り対応して欲しい。</p> <p>(6)県内の国公立大学が連携して成果をあげていることは大変評 価できる。事後評価も本質的内容にかかわる批判は少ない。</p> <p>(7)可否の基準については受講生にどのように知らせているのかがわ からなかった。便覧のP6には書いてあるのですが。</p>
2 Student Labo & Open Labo (学内受け 入れ事業)	A	<p>(1)小学生から高校生まで対象が広がられていて良い。その中で「未 来の科学者養成講座」は特に顕著な成果をあげている。高校生への オープンラボは科学や長大への関心を高める効果が出ている。</p> <p>(2)我が国の理数教育の振興のために着実な成果へとつながる活動 をしていると評価できる。予算的に大変だとは思いますが、自然科学以外 の人文・社会科学的な面でもアプローチをしてほしい。(世の中 が自然科学に対して重要度を認識するには、科学者の養成と科学に 税金をつかうことに意味があるものだと両面から感じていくことが大切 であろう。)</p> <p>(3)未来の科学者養成講座及びサイエンスカフェは、内容が充実して いる。今後は、さらなる周知が必要。</p> <p>(4)学校現場の行事を把握したうえで実施すれば参加者も増えるので はないだろうか。科学の甲子園のサイエンス塾では実験・実習を取り 入れてほしい。</p> <p>(5)ほとんどの講座や事業において、受講者が増加している。小・中・ 高のそれぞれのニーズが高いことがうかがえる。また、参加者の満足 度も高い。今後とも、受講者の意見や要望を十分吟味し、さらなる充 実を望みたい。</p> <p>(6)全般的に高い満足度が得られている。高校生公開講座について は、実施時期や単位認定について一層の検討が必要である。</p> <p>(7)未来の科学者養成講座を修了した子どもたちとの今後の手だてを 考え、活用し、育成してほしい。</p>

3 Class Labo (出前授業)	A	<p>(1)カーラボは62回もの多きにわたる出動をして子どもは大満足している(74%)。教師の評価も高い。他大学には無い試みであるため、広く周知されると良い。高校生へのクラスラボの効果も高い。</p> <p>(2)人文・社会科学の内容が相対的に少ない感じがする。複合的な内容のものもあるが、もっと基礎となる各教科とのつながりを意識してはどうか?(理数科目以外で)</p> <p>(3)サインエスカーラボについては、多くの学校で大変好評であるが、カリキュラムとの整合性が難しい。授業だけに限らず、クラブ活動や公民館講座での活用も増やしては。</p> <p>(4)H26から高大連携の出前授業とクラスラボを併せて学校に照会するよう改善が図られ学校現場にはわかりやすくなった。</p> <p>(5)小学校出前授業は、学校現場にとってありがたい事業である。今後、学校からの要請はさらに増えてくるであろう。高等学校出前授業は、希望に沿った教員派遣となっており、今後も継続が望まれる。</p> <p>(6)大学が積極的に学校現場に出かけて授業を提供することは大いに評価できる。現場のニーズにあったメニュー作りが必要である。</p> <p>(7)十分な活動がなされ成果が上がってきていると思います。</p>
4 Teacher Labo(教師対象事業)	A	<p>(1)講座内容が魅力的である。体制を恒常化するために教育委員会との連携をさらに強くすることを期待する。</p> <p>(2)(2.3とも関連するが)理数系で重点化してしっかりと取り組まれている。しかし「理科が嫌いになってしまった大人・高校生」や他教科(理数以外)での対応について今後拡充していくことを期待したい。</p> <p>(3)地域理数教師塾をさらに発展させ県内全域での取り組みを実施してほしい。</p> <p>(4)教員の資質向上に役立つよい事業でありさらなる充実を期待したい。</p> <p>(5)CST事業は、受講者の要望や負担を考慮し、内容や実施方法の改善が行われてきている。今後とも、市町村教育委員会や理科部会との連携を十分とって受講者増及びCST活用を図って欲しい。</p> <p>(6)大学資金によるCST事業の継続は高く評価できる。事業によっては、小学校教員の掘り起しが必要なものがある。</p> <p>(7)新規事業の地域理数教師塾は先生方の要望に応えることができる良い事業だと思います。CSTの資質の向上にも役に立っていると考えます。</p>
5 総合意見		<p>(1)予算が60%も減ったにもかかわらず、リケジョ、アーツラボも加え、極めて多くの事業が展開されていて素晴らしい。受講者の評価がいずれも高い。大学が小、中、高校生に情報を発信していることはすばらしく更なる発展を期待する。</p> <p>(2)長崎県内の各大学等、自治体と協同、協働していく中で、ひきつづき努力していただきたい。教育支援は短期的な経済効果へと結びつきにくい部分があるので短期的な成果にとらわれない息のながい活動をしていただきたい。自己評価を都度行い、改善しながら事業を発展させながら継続している所は高く評価できる。</p> <p>(3)なし</p> <p>(4)なし</p> <p>(5)それぞれの事業や講座において、受講者の立場に立って企画運営がなされ、一定の効果をあげている。さらに、周知を図るため、新聞やテレビ等、マスコミ報道を利用してはどうか。</p> <p>(6)どの事業も成果を残しているが、全事業を整理して、外部にも分かりやすい体系にすることが望まれる。</p> <p>(7)なし</p>